

平和・平等の大切さについて

考えてみませんか

新年を迎えられ、皆さまいかがお過ごしでしょうか？昨年も多く皆さまにご支援、ご協力を賜り、人権機関有田川の企画する行事が無事に挙行でき、盛況のうちに終了できましたこと、感謝申し上げます。

さて、平成という年号は、今年の4月末をもって終わろうとしています。やつと慣れ親しんだ年号であり、残念な気がします。新しい年号はいったい何になるのか楽しみにしつつ、もう一度「平」の文字について考えてみました。「平和に成る」ということからこの年号になったと思われるが、戦争を知らない人が多くなった今、平和について考えることが少なくならないよう、気をつけてまいりたいと思います。

また、私たちは「平」を使った言葉として、「平等」ということをもって考えていかなければならないと思います。戦争はもちろんのこと、人種差別、貧富の格差、家族内の虐待、身分差別、いじめなど、「基本的人権尊重」を侵害するような出来事がたくさんあります。このような問題が起らないように、人権機関有田川では、活動を通して、問題のない社会の大

切さを多くの方々に訴えていきたいと思っています。講演会や映画会などで問題の大切さを十分皆さまにお伝えできているとは思いますが、皆さまの人権に対する意識向上に少しでも役にたてるよう頑張つてまいります。

平成は徐々に遠くなると思いますが、絶対に遠くなつてはいけないこと、それは「平」という文字を忘れないことだと思っています。今年もご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

人権機関有田川会長 杉澤純次

有田中央高校で

街頭啓発を実施しました

昨年11月13日(火) 8時から有田中央高等学校で、登校する生徒の皆さまに、「性的少数者と人権」の啓発を行いました。

当日は和歌山県職員、人権機関有田川委員に加え、有田中央高等学校の生徒会役員や先生方など、大変多くの皆さまにご協力いただき、啓発グッズと「多様な性について考えよ

う！」性的指向と性自認」というリーフレットを配布。人権の大切さを呼びかけました。



有田中央高等学校での啓発活動の様子

お知らせ

人権映画会 「母と暮らせば」

山田洋次監督作品。日本中が泣いた「母」と「息子」の愛の物語。

●日時／2月17日(日) 13時30分(13時開場)

●場所／金屋文化保健センター

※入場無料。

※整理券が必要です。配布は1月17日(木)から行います。

人権特設相談所

1月17日(木)、人権特設相談所を開催します。相談は無料で、秘密は厳守されます。

●場所／金屋文化保健センター
●時間／13時～16時



10月20日(土)・21日(日)に文化協会吉備支部文化祭、27日(土)・28日(日)に金屋支部文化祭、11月3日(土)・4日(日)に清水支部文化祭、11月18日(日)にしみずふるさとまつりが開催されました。人権機関有田川は各会場で、人権啓発標語の展示や、行事活動の紹介などの啓発活動を行いました。

■人権に関する問い合わせ
有田川町教育委員会 社会教育課

TEL 522-2111
FAX 324-827